

■質問

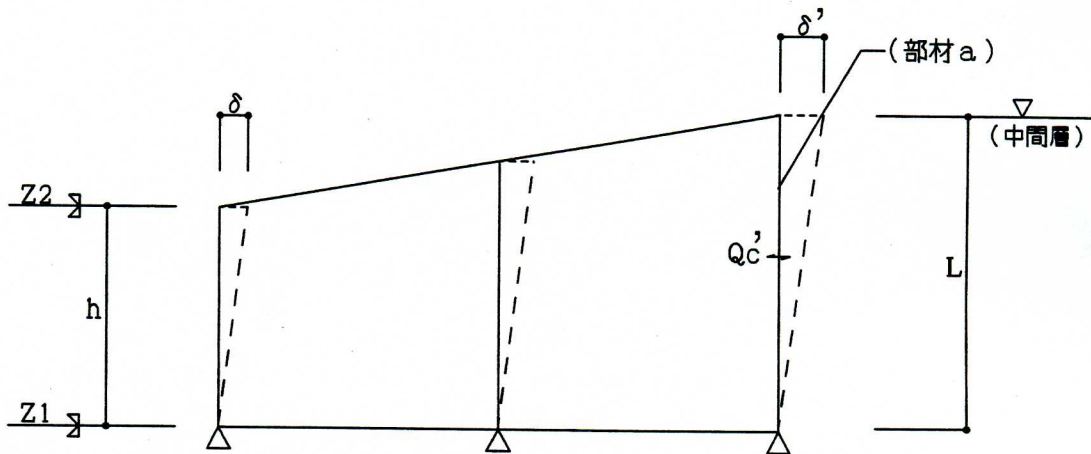
中間層等により柱の部材長が構造階高と異なる場合、水平剛性の算定方法を、教えて下さい。

■回答

水平剛性算定に用いる層間変位(δ')を、構造階高と部材長の比率により求め、水平剛性(Di')の算定方法は下記によります。

(下図参照)

(参考図)



$h$  : 構造階高  
 $L$  : 部材長  
 $Qc'$  : (部材 a) のせん断応力

$$\delta' = \delta \times \frac{L}{h}$$

$$\text{(部材 a) の水平剛性 : } Di' = \frac{Qc'}{\delta'} = Qc' \cdot \frac{h}{\delta L}$$